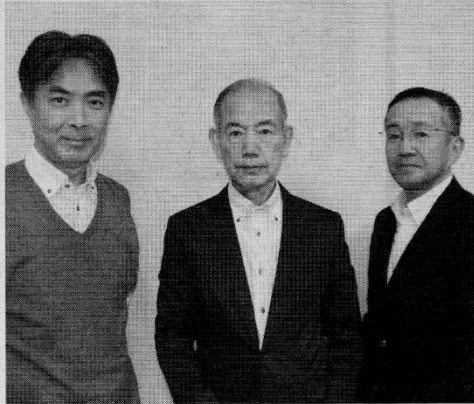


改善インストラクター協会が発足



新納会長（中央）と協会メンバー

在職者向け教育訓練と現場改善実習を目的とした専門家組織「改善インストラクター協会（太田市大原町668、新納裏会長☎0277-782641）が1日に発足した。群馬ものづくり改善インストラクターズスクール修了生で構成する講師陣が、企業の生産性向上などの課題解決を目指す。県では10年から東京大

企業OBの知恵と経験提供 企業課題の改善を目指す

学ものづくり経営研究センターと連携し、「群馬ものづくり改善インストラクターズスクール」を開講し、修了生を「群馬ものづくりインストラクター」として認定している。認定インストラクターは活動の一つとして、県の支援事業である「ぐんま改善チャレンジ」に申し込んだ企業に派遣され、現場改善や人材育成などを行う。

同制度は中小製造業向けの改善支援事業で、海外進出や販路開拓などものづくり以外の管理技術、新技術・製品開発などの固有技術、サービス業には対応していない。また年度や活動テーマに関係なく、同一の企業が同制度を複数回利用することができないなどの制約があるという。

場で一緒に対策を考え実行する。初回ヒアリングは無料で、1日（6時間）の現場診断で税別5万円。半

日（3時間）で3万円となる。中小企業の「ミラサポ制度」を活用することで、料金は発生しないなどの措置を受けることができる。企業の経費負担を抑え、企業が解決できない課題に対し課題解決から対策・定着までが可能な仕組みを提供し、地域活性化を目指す。

新納会長は「改善は簡単にするもので、難しく考えてはいけない。人材のレベルアップも生産性向上につながる『改善』のひとつ。ベテランの知恵や経験で、企業の課題解決にコミットしていきたい」と話している。（臼井昇斗）

ぐんま経済新聞

「改善インストラクター協会発足」

令和元年 5月30日(木)掲載